

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212P204	基礎看護学実習Ⅱ (看護実践の基盤) (Fundamental Nursing PracticumⅡ)	専門教育科目 基礎看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	2	後	集中	佐藤祐貴子, 清村紀子, 原田千鶴, 野上龍太郎 安藤敬子 (福祉健康科学部) 他 他 内線: 5031 Email: haraguti@oita-u.ac.jp

**【授業の概要・到達目標】**

本科目は、基礎看護学実習Ⅰを基盤とし、臨地で指導を受けながら、看護を必要とする人を受け持ち、看護を実践する。看護の対象となる人の理解、看護過程の展開、看護技術の実施を通し、「看護とは何か」および「看護の専門家としての姿勢」を学ぶ。本科目での学びは、臨床判断能力や倫理的判断・行動に必要な基礎的能力の基盤となる。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 「固有の生活の背景と流れ」を持ち「基本的ニーズを充足する生活行動を営む」存在としての「生活者」について説明できる。	○						
2. 看護過程を展開できる。			○				
3. 看護過程を通し、臨床判断や臨床推論について説明できる。			○				
3. 看護技術を適切 (安全・安楽・自立的) に実施することができる。	○						
4. 看護実践において看護の対象となる人々との援助的なコミュニケーションを通して、関係性を構築することができる。		○					
5. 実習体験を振り返ることや看護の場での経験を通して、看護を提供する専門職者としての役割の責任や倫理、態度について考えることができる。				○			
6. 実習体験の言語化を通して自己の「看護観」を発展させることができる。							○

**【授業の内容】**

1. 実習期間：令和6年2月下旬～3月上旬の10日間
2. 場所：大分大学医学部附属病院, 大分赤十字病院
3. 実習スケジュール

日程	内容
1月下旬	実習オリエンテーション (学内)
2月中旬	看護における情報管理オリエンテーション (学内)
2月下旬～3月上旬	臨地実習
実習最終日	合同カンファレンス / 評価面接 (学内)

**【アクティブラーニングの内容・その工夫】**

臨床現場において、実習指導者の指導の下に、実際の入院患者の看護計画の立案から看護実践の評価の過程を体験してみる。実習体験の振り返りを通して、看護学や看護実践について学ぶ。

A: 知識の定着・確認	○	事前学習課題、既習科目の復習	・既習の学修内容を踏まえ、実習を体験し概念化を行う。
B: 意見の表現・交換	○	ディスカッション	
C: 応用志向	○	カンファレンス	
D: 知識の活用・創造	○	臨地実習	

**【時間外学修の内容と時間の目安】**

準備学修	既習の基本的看護技術の復習, 看護過程の復習 (20h)
事後学修	看護技術の練習, 実習計画の立案, 実践の評価等 (20h)

**【教科書】**教科書を指定しない。

**【参考書】**参考書を指定しない。

**【成績評価方法及び評価の割合】**

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6
実習記録	75%	○	○	○	○	○	○
学習態度	15%	○	○	○	○	○	○
課題レポート	10%	○	○	○	○	○	○

**【注意事項】**季節性の感染症に罹患しないよう健康管理に留意する。

**【備考】**実習に係る学外実習の交通費は、学生の公平負担とする。看護過程論ならびに成人系の病棟で実習するので成人看護学関連科目の履修をしていることを必須とする。

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験		看護師:佐藤貴子, 清水紀子, 原田千鶴, 野上龍太郎, 安藤敬子 他 保健師:安藤敬子
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		臨床での豊富な経験をもとに、臨床実習における看護の対象となる人の理解、看護過程の展開、看護技術の実施の指導・学習支援を行う。
授業形態		対面授業